

## 看護過程論 Nursing Process

### 授業計画・内容

回	内容	担当
1	看護における人間・対象の捉え方 看護過程とは、ヘンダーソン看護論(目的論・対象論・方法論)	寺井
2	アセスメント①アセスメント 情報収集、情報の整理 データから情報への変換、人間の反応の理解 事例A【事後課題】	
3	アセスメント②情報の分析・解釈:情報の分析(原因・誘因、強み、なりゆきの分析)	
4	アセスメント③情報収集:電子カルテから患者情報の初期把握 初回訪室時の状態観察(系統的な観察・包括的アセスメントのための情報収集)【事前課題】	
5	看護問題の明確化①:健康上の問題と看護問題、協働問題と共同問題	
6	アセスメント①:情報の分析・解釈【事後課題】	
7	アセスメント②:情報の分析・解釈【事後課題】	
8	アセスメント③:情報の分析・解釈【事後課題】	
9	アセスメント④:情報の分析・解釈【事後課題】	
10	看護問題の明確化②:関連図(病態関連図と情報関連図)、看護問題の優先順位【事後課題】	
11	看護計画①:看護目標、期待される結果の明確化、具体的な援助計画(O-P、C-P、E-P)【事後課題】	
12	看護計画②:看護目標、期待される結果の明確化、具体的な援助計画(O-P、C-P、E-P)【事後課題】	
13	実施①:実施前の確認と判断、報告	
14	実施②:援助計画の実施、実施後の記録、問題志向型システムと経過記録【事後課題】	
15	評価:到達度の判定、達成度に影響を与える要因、看護計画の終了・継続・修正	

教科書	永田明、石川ふみよ監修:看護が見えるvol.4 看護過程の展開、メディックメディア、2020 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学Ⅰ 医学書院 ヴァージニア・ヘンダーソン著、湯槻ます・小玉香津子訳:看護の基本となるもの、日本看護協会出版会
参考図書等	江崎フサ子:ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト第4版、ヌーヴェルヒロカワ、2013 秋葉公子:看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第4版、ヌーヴェルヒロカワ
評価指標	課題80%、グループ課題10%、グループ貢献度10%とし、授業態度より総合的に評価する。 1回目の講義で課題と筆記試験のスケジュールを提示する。
関連科目	看護学概論、生活援助論Ⅰ・Ⅱ、診療補助技術論Ⅰ・Ⅱ、フィジカルアセスメント、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、人間病態学、疾病障害論、薬理学等

教員から学生へのメッセージ	看護過程は、看護目的を達成するための手段であり、こんな看護をしたいという看護者一人ひとりがもつ思いを具現的に実践するための方法論の1つです。授業では、「書き方」にこだわるのではなく、「なぜそのように思考するのか」について理解することを意識してください。みんなの主体的な参加と「どのような看護をしたいか」「看護の対象をどのように捉えるか」について表現しあうことを期待します。
---------------	--